

「墨痕に咲う—美濃の禅画の世界 白隠と仙厓と—」

会 期：2023 年 1 月 8 日(日)～2 月 19 日(日) 〈37 日間〉

会 場：企画展示室

展示点数：45 点（うち 2 点〔No.5 と No.6〕は前期と後期で展示替え）

観 覧 料：一般 200 円（高校生以下、かるちすとくらぶ会員は無料）

入場者数：1,799 人



【内容】

人の咲うを愛す一。美濃国武儀郡(現 岐阜県関市武芸川町)に出自を持つ仙厓義梵(1750-1837)は自らの描く絵をこう称し、自由で柔らかな筆致で、見るものの頬が思わず緩んでしまうような作品を多く残しました。禅において「笑い」は、無の境地に達するため手段として非常に大切にされてきたものです。生活の隅々まで神仏が息づいていた時代。一部の禅僧たちは仏画や戯画まで多岐にわたる画題のなかで、世と自分を見つめ直し教えを広めようとする意志を絵筆に託しました。描かれたものからは、それぞれの書画を通して心をつなぐ人々の思いが滲むようです。

早稲田大学會津八一記念博物館には、室町時代から江戸時代にかけての数多くの「禅画」が所蔵されています。一方、美濃には仙厓をはじめとして、山之上村において修行を重ねた白隠慧鶴(1685-1768)、伊深村にある正眼寺を再興した雪潭紹璞(1801-1873)など書画をよくした禅僧たちと深い縁をもち、岐阜県美濃加茂市やその周辺にはその禅書画が数多く伝わり、各地に足跡がのこります。

江戸時代、社会が豊かになる一方で、人々は度重なる飢饉や災害など不安に脅かされていました。これらの禅画には、混迷を極める現代だからこそ、時を超えて私たちに語りかけてくるものがあります。この展覧会では、これらの禅画を展示し、彼らの生涯と研鑽の過程で形作られた思想を紐解きながら、独創的な絵が生まれたその意図に迫ります。あるいは豪放あるいは洒脱な墨の痕と教えの薫る賛文を糸口に。現在も変わらない祈りの奥深さや墨と人との交わりを感じる機会となれば幸いです。

【関連事業】

□絵解き講座「あなたにもわかる禅画」

1 月 18 日(水) ①10:00～11:00 参加者：34 人

②13:30～14:30 参加者：42 人

2 月 4 日(土) ①10:00～11:00 参加者：25 人

②13:30～14:30 参加者：27 人

内 容：担当学芸員が展示室を案内した。

参加料：無料

会 場：企画展示室

□トークイベント「禅画の魅力」

1 月 22 日(日) 14:00～15:00 参加者：58 名

内 容：近世の禅僧が描いた独創的な表現で知られる「禅画」。なかでもとりわけ注目される白隠慧鶴と仙厓義梵の作品について講演いただいた。

講 師：柿澤香穂（早稲田大学會津八一記念博物館学芸員）

参加料：無料

会 場：緑のホール

□子ども向け講座「紙と墨で楽しむ」

1月28日（土）13:30～15:30 参加者：8名

内 容：実際の和紙と墨を使って、墨絵を描いた。

講 師：みのかも文化の森職員

参加料：無料

会 場：工芸室

□現地ツアー「白隠の足跡をたどって」

2月5日（日）13:30～15:30 参加者：19名

内 容：坐禅したと伝わる岩など白隠ゆかりの山之上町の遺跡を歩いてめぐった。

参加料：無料

会 場：山之上町内

□四季を食べる講座「禅を食す」

2月10日（金）10:30～13:00 参加者：9名

内 容：禅寺で食べられているお粥を作り、白隠の修行に思いを馳せた。

講 師：みのかも伝承料理の会

参加料：500円

会 場：生活体験館

【展示品】

No.	指定	資料名	制作年	法量〔縦×横×高〕(cm)	作者	所蔵（所在地）
1		陶製 大黒天像	江戸時代	11.0×10.4×12.0	仙厓	武芸川ふるさと館
2	□	達磨図	江戸時代	123.0×57.0	白隠	龍福寺（加茂郡富加町）
3	○	蓮池観音図	明和4（1767）年	142.4×54.6	白隠	大龍寺（岐阜市）
4		渡唐天神図	江戸時代	85.2×21.9	白隠	早稲田大学會津八一記念博物館
5		布袋すたすた坊主図	江戸時代	52.8×94.0	白隠	早稲田大学會津八一記念博物館
6		蛤蛸観音図	江戸時代	54.8×56.9	白隠	早稲田大学會津八一記念博物館
7		恵比寿 寿老人図	江戸時代	80.2×25.5	白隠	早稲田大学會津八一記念博物館
8	○	白澤図	宝暦8（1758）年	58.9×97.7	白隠	大龍寺（岐阜市）
9		雲雀図	江戸時代	40.5×56.8	仙厓	早稲田大学會津八一記念博物館
10		猿猴捉月図	江戸時代	114.1×28.5	白隠	早稲田大学會津八一記念博物館
11	○	老子図	江戸時代	127.2×55.0	仙厓	大龍寺（岐阜市）
12	○	狗子仏性図	江戸時代	127.5×54.2	仙厓	大龍寺（岐阜市）
13		収穫図	江戸時代	113.5×36.8	仙厓	早稲田大学會津八一記念博物館

No.	指定	資料名	制作年	法量〔縦×横×高〕(cm)	作者	所蔵（所在地）
14		富士見人物図	江戸時代	88.5×28.2	仙厓	早稲田大学會津八一記念博物館
15		蜷子和尚図	江戸時代	49.7×54.9	仙厓	早稲田大学會津八一記念博物館
16		南泉斬猫図	江戸時代	32.5×47.2	仙厓	早稲田大学會津八一記念博物館
17		一休和尚図	江戸時代	85.2×28.6	白隠	清泰寺（美濃市）
18		布袋図	江戸時代	39.6×57.0	仙厓	早稲田大学會津八一記念博物館
19		宝槌図	江戸時代	51.5×60.1	白隠	早稲田大学會津八一記念博物館
20		摺鉢図	江戸時代	34.0×57.0	白隠	早稲田大学會津八一記念博物館
21	○	箕笠槌袋図	江戸時代	79.3×26.0	白隠	賑濟寺（美濃加茂市）
22	○	愚達磨図	江戸時代	113.0×29.0	白隠	賑濟寺（美濃加茂市）
23	□	濃陽富士山記	享保元（1716）年	62.0×22.1×1.4	白隠	個人蔵
24	□	濃陽富士山記 茅斎記	江戸時代	27.3×194.0	白隠	個人蔵
25		安名	江戸時代	14.8×29.2	白隠	個人蔵
26	□	鍾馗図	江戸時代	88.6×29.5	仙厓	清泰寺（美濃市）
27		罐子の図	江戸時代	132.0×28.4	白隠	壺泉寺（美濃加茂市）
28	□	大燈国師図	江戸時代	133.8×56.8	白隠	正傳寺（加茂郡八百津町）
29	□	大応国師図	江戸時代	133.6×56.6	白隠	正傳寺（加茂郡八百津町）
30	□	無相大師図	江戸時代	134.2×57.2	白隠	正傳寺（加茂郡八百津町）
31		出山釈迦図	江戸時代	104.1×31.2	白隠	小山寺（美濃加茂市）
32		書跡	江戸時代	36.8×56.6	白隠	瑞林寺（美濃加茂市）
33		人丸図	江戸時代	57.2×36.3	白隠	普門寺（美濃加茂市）
34		無相大師放牛図（複製）	江戸時代	34.5×55.0	雪潭	館蔵
35		鍾馗図	江戸時代	29.0×39.0	雪潭	館蔵
36		達磨図	江戸時代	103.8×27.3	雪潭	早稲田大学會津八一記念博物館
37		大燈国師図	江戸時代	106.7×39.8	雪潭	早稲田大学會津八一記念博物館
38		山水図	江戸時代	72.5×29.0	雪潭	早稲田大学會津八一記念博物館
39		『辻談議拾遺』	江戸時代	20.4×11.9	白隠	個人蔵
40		『神機独妙禅師年譜』	文政3（1821）年	25.8×18.2		館蔵
41		『夜船閑話』	明治19（1887）年	22.4×15.3		館蔵
42		『白隠禅師施行歌』		16.2×11.5		館蔵
43		『白隠和尚施行歌』	天保7（1837）年	21.5×15.0		館蔵
44		『白隠禅師施行歌』	安政5（1859）年	18.6×13.6		館蔵
45		木造 白隠坐像	昭和34（1959）年	34.6×40.3×27.9		賑濟寺（美濃加茂市）

〔凡例〕

- ・〔指定〕列について、○…県重要文化財、□…市町指定文化財 である。
- ・〔作者〕列について、〔白隠〕は白隠慧鶴(1685-1768)、〔仙厓〕は仙厓義梵(1750-1837)、〔雪潭〕は雪潭紹璞(1801-1873)の作品であることを示す。
- ・No.21、No.22、No.24 は現在、美濃加茂市民ミュージアム寄託。
- ・No.34 は材質技法・作者・時代は原品についてのもの。

【参考】

2022年の春ごろ、事前調査として早稲田大学會津八一記念博物館に伺い、所蔵の禅書画のうち、本展示で中心的に扱う白隠、さらに美濃とゆかりの深い仙厓、雪潭の作品について調査させていただいた。また並行して、市内外の寺院、または個人所蔵の作品についても調査を進めていった。仙厓、雪潭については想定していたよりも市内やゆかりのある近隣地域に作品数が少ないことが以外だった。しかし下呂の個人宅に所蔵されていた雪潭の白隠のつながりがわかる資料（No.39）を借用展示できたり、岐阜市にある雪潭が晩年を過ごした寺院で雪潭の生々しいエピソードとともに作品を多数調査したりすることができ、飛騨・美濃をふくむ、より大きなくくりで禅書画について理解を深め、展示として紹介できたように感じる。



〔展示全景1〕



〔展示室全景2〕



〔トークイベント「禅画の魅力」〕



〔子ども向け講座「紙と墨で楽しむ」〕



〔四季を食べる講座「禅を食す」〕



〔現地ツアー「白隠の足跡をたどって」〕

【アンケート結果】(全 168 枚)

選択設問から

①展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？

・満足	89
・ほぼ満足	48
・ふつう	27
・やや不満	4
・不満	0
計	168

②展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？

・満足	89
・ほぼ満足	64
・ふつう	16
・やや不満	3
・不満	0
計	168

③展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？

・満足	101
・ほぼ満足	58
・ふつう	8
・やや不満	1
・不満	0
計	168

自由記述から

・芸術や歴史に詳しくなくても見て楽しめるような展示を色々やって欲しいです。今回はかわいい作品がたくさんあり楽しめました。

・新春から「笑」ということを取り上げられたことに、気持ちが和みました。「ぼっこにわらう」というタイトルは難しいですが、よく表現されていると感じます。

・こじんまりしている企画展ですが、展示作品が素晴らしく、じっくりと見ることができました。

・絵に詳しいわけではありませんが、素敵な教えと笑いの要素もある展示だと思いました。色々な展示をして下さりありがとうございます。

・興味深い内容で、新らためて禅を学びたく思いました。毎月、美濃加茂市の霊泉寺にて座禅会に参加しています。

・リーズナブルな価格で興味深く、貴重な展示を楽しめました。白隠禅師が美濃加茂にゆかりがあるということも発見でした。

・岐阜県で美濃加茂市でこれだけの展が見れるとは感激です。ゆかりのお二人だということがよくわかり、より身近に感じます。何度も咲きました。ありがとうございました。

・来られるのが今日が最後なので気楽にブラブラ観ました。初めて気がつきました。ネズミにかじられた跡でしょうか。ルーブリーフの穴みたいになっていました。前回までどこを見ていたんだろうと笑えてきました。今回もありがとうございました。

・多数の展示が一度に見られて良かったです。身近にある場所は行ってみたいと思いました。

・見たいと思っていたテーマなので大いに満足。抽象的な禅画を見る事によって印象が異なると思った。布袋図のようにどかっとな横になりたい。

・とても詳しいいい解説と作品の展示、関心しました。共催の会津八一記念館のものより当地美濃の地ものが良かったです。白隠、仙厓も作品が多くそれぞれがユニークであるが作品がこれだけまとまって見られ、これの解説もあったのは良かったです。どうだんつじの寺の大龍寺も花や紅葉をみに何度かいき、その展示作品も一緒に見るべきか今回はお寺で見るよりはるかにありがたく拝見しました。

・とてもほっこりしました。マスクの下で微笑みながら鑑賞していました。なにか禅という「厳しさ」を思い込んでいたという反省や、「かわいい」というギャップ感に大変楽しさを覚えました。

・白隠、仙厓の禅画はとても好きなので、200円でみられというのは、本当に嬉しいです。岐阜在住ですが、地元岐阜県がこうした禅の人々と繋がりが深いことに喜びを感じます。ここに展示されていない禅画がまだまだあると思います。またの展示を楽しみにしております。

・禅画について勉強したいことはなかったが、中学の美術での教科書で仙厓和尚の作品をみてからファンになり、今回展示があるので来館した。仙厓和尚の他の作品にも触れられた。禅画独特の画風やモチーフについてやっぱりいいなと思った。画家の人生など全く知らなかったがそれも含め今回の展示で学び、さらに自分でも深く調べようと思った。禅画について魅力が高まった展示でした。

・ありがとうございました。詳しく説明されよく理解できました。文化を含め足元を大切にすること地域を見つめる事の意味、再発見もありました。いい勉強ができ感動しました。

・白隠と山之上のつながりが展示の資料からよくわかりました。特に鹿野善兵衛の援助がなければ山之上での修業はできなかったことを考えると鹿野善兵衛は立派な人であると思いました。

・笑えました。和みました。チクリと鋭い、深い。

・本やネットなどの写真でしか見る事の出来なかった品々をこうしてまじかにみられてうれしいです。特に仙厓さんの絵が好きなので感動しました。終始「咲」いながら拝見させて頂きました。ありがとうございました